

評価基準B: レベル別・基準説明

トレイト	レベル・スコア	基準説明	
1. 目的・内容	6 Very good とてもよい	明確な目的・課題の達成, トピックにあった内容, 明確で一貫性のある主張, 主張の十分なサポート ・ほぼ完璧にできている ・目的・課題の達成に問題点はないが、際立ってはいない: 主張は一貫しサポートもあるが、書かれている「内容」に特別な視点・立場はなく、平凡である、など ・目的・課題の達成はなされているが、上記の一部が十分でない: 主張の一貫性にやや欠ける、サポートはあるが具体性に欠ける、など ・目的は一応示され、主張も分かるが、問題点もある: サポートが十分でないために、客観性、説得性に欠ける、主張にやや偏りが見られ妥当性に欠ける、など ・言いたいことはおおよそ分かるが、「内容」としてのまとまりがなく、課題の達成は不十分である: 量的・質的にトピックについて言及が少ない、あるいは反対にトピックとは関係のないことへの言及が多い、主張の一貫性がない、など ・トピックについては書かれているが、目的が明確でなく、言いたいことが理解できず、課題は達成されていない	
	5 Fairly good かなりよい		
	4 Good よい		
	3 Average ふつう		
	2 Not good 十分ではない		
	1 Poor まだまだ		
2. 構成・結束性	6 Very good とてもよい	文章全体の構成, 適切な段落分け, 段落と段落の関係, 段落内の文のつながり ・ほぼ完璧にできている ・文章全体の構成や段落に問題はないが、段落内にやや不自然さがある: 段落内の文のつながりにやや不自然さがある、など ・文章全体の構成や段落分けは一応できているが、一部が十分でない: 例えば、「はじめに」(Introduction)や「結論・まとめ」(conclusion)が「文だけから成る、あるいは「本論」(body)の段落分けがやや細かすぎたり、荒すぎたりする、など ・文章全体の(意味的な)流れはあるが、形式的段落(改行による段落)が不自然である: 例えば、「はじめに」または「結論・まとめ」のどちらかが明らかに欠落している、段落分けがあまりに細かすぎたり、荒すぎたりする、など ・文章全体の構成がかなり不自然である: 形式的段落は作られているが、段落と段落が意味的につながっていない、など ・文章全体の構成が認められない: 形式的にも(段落分け)、意味的にも段落に値するものがなく、「構成」についての知識が認められない	
	5 Fairly good かなりよい		
	4 Good よい		
	3 Average ふつう		
	2 Not good 十分ではない		
	1 Poor まだまだ		
3. 読み手	6 Very good とてもよい	読み手に対する配慮, 読み手にとっての興味深さ ・読み手に背景知識がないと思われる場合にはそれを提供し、読み手を引き込み、読み手にも考えさせる工夫がある、など ・読み手に背景知識がないと思われる場合にはそれを提供しているが、やや読み手を引き込んでいく要素に欠ける、など ・読み手を想定しているが、一部説明不足の箇所があったり、読み手を引き込んでいく要素に欠ける、など ・読み手のある程度想定しているが、読み手にはおそらくないと思われる背景知識(例えば、書き手の国の文化や習慣、書き手の大学での専門など)についての説明がないために、読み手には分かりにくい箇所があり、興味を持たせにくい、など ・書き手中心の(読み手を想定していない)ライティングだという印象を与える ・書き手中心の(読み手を想定していない)ライティングであり、読み手には理解できない	
	5 Fairly good かなりよい		
	4 Good よい		
	3 Average ふつう		
	2 Not good 十分ではない		
	1 Poor まだまだ		
4. 日本語 (言語能力)	A 正確さ	6 Very good とてもよい	正確な文法, 多様で効果的な文型, 正確な語彙・句読法・表記 ・母語話者に近いレベルで、正確に日本語を使用している。特に「多様で効果的な文型」を使いこなしている ・大きな誤りはなく、「多様で効果的な文型」も使われている ・多少の誤りがあっても、意味を十分理解できる程度の正確さがある。しかし、「多様で効果的な文型」はあまり使われていない ・意味は何とか理解できる程度の正確さはあるが、誤りもある。 ・アカデミック・ライティングを書けるレベルにまだ達していない: 意味のよく分からない箇所がかなりあり、文章全体の理解を妨げる ・アカデミック・ライティングを書けるレベルではない: 全体的に不正確で、意味が分からず、読むのが困難である
		5 Fairly good かなりよい	
		4 Good よい	
		3 Average ふつう	
		2 Not good 十分ではない	
		1 Poor まだまだ	
	B 適切さ	6 Very good とてもよい	適切な形式, レジスター(表現・語彙, 文末スタイル, 漢字とかなのバランス) ・母語話者に近いレベルで、適切に日本語を使用している ・重大な不適切な箇所はなく、とくに課題(のジャンルなど)にふさわしい表現・語彙が使われている ・表現・語彙には多少の不自然さがあっても、文末スタイルがそろい、漢字も適度に使われている ・理解はできるが、表現・語彙が不自然であったり、「話しことば」がかなり混じっていたり、文末スタイルが統一されていなかったり、漢字の使い方が少なかったりする、などのマイナス要素がいくつか認められる ・アカデミック・ライティングを書くレベルにまだ達していない: 表現・語彙がかなり不自然で、「話しことば」と「書きことば」の区別や「普通体」と「丁寧体」の区別ができていない。また、漢字もほとんど使われていない、など ・アカデミック・ライティングを書けるレベルではない: 表現・語彙が極めて乏しく、文章全体が稚拙である
		5 Fairly good かなりよい	
		4 Good よい	
		3 Average ふつう	
		2 Not good 十分ではない	
		1 Poor まだまだ	
	0 N.A. 該当せず	白紙やそれに近い状態。あるいは、課題を無視して書かれている場合や大部分が目標言語(日本語)以外の言語で書かれている場合 (注) 目標言語(日本語)以外の言語が単語レベルで使われていても、大きく評価を下げることはしない: [4. B 適切さ]の「漢字とかなのバランス」と同じような観点から評価する	

(田中・長阪, 2008年)